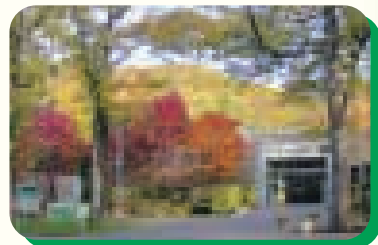


あき どうぶつえん 動物園 秋のみどころ

10月に入り、動物園もすっかり秋らしくなりました。
園内の木々や周辺の山は、赤や黄色に美しく紅葉しています。この他にも秋の動物園には見どころがいっぱいです。



やま さる山

ニホンザルは秋から冬にかけて恋の季節を迎えます。
この時期のニホンザルは、顔やお尻が真っ赤になります。
これは血液の中のホルモンの影響です。また、オトナのオスは、自分をアピールするために毛をふくらませ、尻尾をたてて動き回ります。



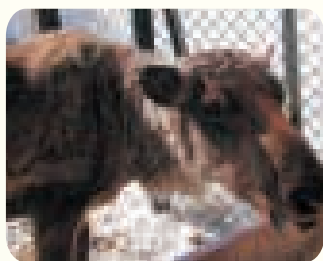
メスとオスが結婚するのはこの時期だけです。
恋の季節を迎えたニホンザルの様子を観察してみましょう。



顔の色のちがいを見てください。

トナカイ

シカ科の動物の中で、トナカイだけがオスにもメスにも角が生えます。
オスのトナカイの角は特に大きいです。この角は春に生えはじめ、夏から秋にかけて大きくなります。このときの角は袋角と呼ばれ、黒いビロードのような皮膚におおわれて、中には血管が発達しています。秋になって角の成長が止まると、袋角の皮がはがれて、かたいりっぱな角が現れます。この角は、早ければ12月末には落ちます。りっぱな角を見てください。



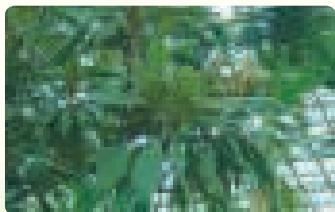
角のないトナカイ(2月)



袋角がはえ始めた頃



立派な角のトナカイ



ねったいしよくぶつかん 熱帯植物館

11月から12月にかけて、熱帯植物館ではビワの花が咲いています。